

Faculties and Centers

(学部・大学院・センターなど)



KONAN U.VISION 2025

甲南大学には、伝統を礎に進化する5学部（文学部・理工学部・経済学部・法学部・経営学部）と先端的な特色教育を進める3学部（マネジメント創造学部・知能情報学部・フロンティアサイエンス学部）、先端研究を行う4研究科（人文科学研究科・自然科学研究科・社会科学研究科・フロンティアサイエンス研究科）があります。また、共通教育を担う各センター等に加え、教育・学生生活支援、入試業務、研究推進・地域連携を担う部局が活動しています。これらすべての組織が甲南新世紀を担い、2025年に向けた各々のビジョンを掲げ、その実現に取り組んでいきます。

NEXT

文学部

- (1) 融合型リベラルアーツ教育を発展させ、人文学の知と実証的スキルを兼ね備えた人物を育てる学部になる。
- (2) 変化する時代への方向感覚と、より良い社会の実現に貢献する力を持った人物を育てる学部になる。
- (3) 人文学の教育と研究に根ざした、多様な価値観の交わる創造的な場を生み出す学部になる。

経済学部

- (1) 1年次から4年次まで、学生と教員の距離が近い、親身な教育と指導を行うことで、学生一人ひとりが専門的知識を深め、高い人格と品性を備えた人物に成長する、「顔が分かる」少人数教育」を実践するとともに、それに資するきめ細やかな学生支援を行う学部になる。
- (2) ダブルディグリー留学制度やその他の各種留学プログラムへの参加を奨励・支援することで、経済学部生のグローバル体験機会を拡充し、「融合型グローバル教育」を推進する学部になる。
- (3) 地域連携教育を強化し、地域社会とのつながりを深化させる学部になる。また、高大連携活動の推進を通じて社会に貢献する学部になる。
- (4) 特色ある、また国際的にも高水準の研究を行うとともに、高い研究倫理意識を有する学部になる。

法学部

- (1) 国際社会及び日本社会を鳥瞰できる専門知識を持った人材を育てる学部になる。
- (2) 人権感覚にあふれた柔軟な思考力、批判精神、社会的弱者に共感できる豊かな心を持った市民を育てる学部になる。
- (3) 社会的諸問題に対し、自ら思考し、人々とのつながり、解決を目指すことのできる公共人材を育てる学部になる。
- (4) 法学・政治学の研究において、それぞれの専門領域で質の高い研究を進めるとともに、専門領域を超えた融合的・総合的な研究にも取り組み、その成果を教育と社会に生かすことのできる学部になる。

経営学部

- (1) 関西の私立大学で最初に開設された経営学部として、伝統と革新の精神に基づいた実践的な教育を通じ、「発見する力」、「創り出す力」、「やりとげる力」を有する、実社会に貢献できる人材を輩出する学部になる。
- (2) ミディアムサイズである本学の特徴を生かして、伝統的な経営学教育をより着実に実践するとともに、実務志向的な新しいタイプの教育プログラムを提供できる学部になる。
- (3) 世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、その成果（研究成果・教育成果）を積極的に社会に還元できる学部になる。
- (4) 産業界の理解・共感を醸成して強固な支持層を形成し、強いつながりを持つ学部になる。

マネジメント創造学部

- (1) 学生一人ひとりの個性を引き出し「自ら学ぶ力」「共に学ぶ力」「自ら考え行動する力」の育成を図ると共に、地域との連携を強化し1年次から地域の人々と共に学ぶ学部になる。
- (2) 積極的な異文化体験と実践的な英語教育を通して、グローバルな社会問題を深く理解し意見できる、世界に通用する人物を輩出できる学部になる。
- (3) 地域や企業などの現場での体験や課題を見つけて解決策を探る体験を通して、社会の問題の本質を見抜き複雑化した諸課題に立ち向かう力を養う学部になる。
- (4) 教員の研究成果を教育に反映し、学生が多様な視点をもって社会に向き合うことができる学部になる。

理工学部

- (1) 新しい理系教育のあり方を探究し続ける学部になる。
- (2) 学部として目指す教育を一層充実させ、社会に貢献できる専門性を持った人材を養成できる学部になる。
- (3) 多様な目標、課題を掲げる学生に対応し、質の高い教育を提供できる学部になる。
- (4) 他学部、地域へ自然科学教育を展開し、自然科学の面白さや意義を発信できる学部になる。
- (5) 学部から大学院へと研究を継続的に進め、研究力を学外へ発信・展開できる学部になる。

知能情報学部

- (1) ミディアムサイズである本学の特徴を生かして、学部の新6コースの理念に掲げる知識と応用力・実践力・人間性を備えた人材の育成を、新しい教育プログラムにおいてさらなる進展・洗練化を図る学部になる。
- (2) 数理科学を基盤とした知能情報学による教育と研究を創出し、産業界において広く理解・共感を得られる強靱な支持層を獲得し、研究・教育成果を積極的に社会に還元する学部になる。
- (3) 学部-大学院による一貫教育を構築し、世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、産業界や研究機関、海外等で活躍でき、「問題を発見し、自ら考え、解決する力」を社会で実践できる人材を輩出する学部になる。

フロンティアサイエンス学部

- (1) 神戸医療産業都市における唯一の化学系学部としての甲南大FIRSTのプレゼンスを向上させ、研究面において信頼を得る学部になる。
- (2) “顔がわかる”少人数制のきめ細やかな教育による理系専門職や理系応用人材の育成を通じて社会に貢献する学部になる。
- (3) withコロナ・AI時代を生き抜くための専門知識・教養を涵養する教育・研究システムを構築し、受験生や企業から選んでもらえる学部になる。

FIRST…フロンティアサイエンス学部の愛称

人文科学研究科

- (1) 学部学生に大学院で学ぶことの意義について積極的に周知するなど、既存教育環境のもとでの学生募集をより活性化するための課題に積極的に取り組むとともに、社会人のための社会教育・生涯学習に向けた高度な専門教育を提供する研究科になる。
- (2) 大学院担当教員が積み重ねてきた教育・研究力を可視化させ、研究成果・教育実績を公開し、社会に還元できる研究科になる。
- (3) 学生と大学院各専攻を横断・融合する幅広い知の探求を深めるとともに、担当教員との研究交流を深めることで「学びの交流」を推進できる研究科になる。

社会科学研究科（経済学専攻）

- (1) 税理コースでの2年間にわたり厳しくも親身な教育・指導を行うことによって、将来税理士を目指す大学院生のための充実した教育を堅持する研究科専攻になる。
- (2) 個々の学生の特性に応じたきめ細やかな学生支援体制を推進する研究科専攻になる。
- (3) 専修プログラムの導入検討や社会人コースの見直し等により、税理コース以外の大学院教育も活性化させる研究科専攻になる。
- (4) 広報活動の強化により、志願者数・入学者数の増加を目指し、大学院教育を活性化させる研究科専攻になる。

社会科学研究科（経営学専攻）

- (1) 経営学、会計学、商学の3分野の先端をいく高度な理論的・実証的研究を促進し、さらには伝統と革新の精神に基づいた教育を実践し、より良い社会づくりの実現に貢献できる実践的な専門教育を行う研究科専攻になる。
- (2) 教育力の高い大学院として世界的な名声を得ると共に、時代の変化に対応した大学院教育を行い、社会に貢献できる人材を育成する研究科専攻になる。
- (3) 世界に通じる特色ある研究のさらなる向上を図り、その成果（研究成果・教育成果）を積極的に社会に還元できる研究科専攻になる。

自然科学研究科

- (1) 確かな研究力と実践力を備えた「地域」と「世界」で活躍する人材を育成する研究科になる。
- (2) 自然科学の幅広い分野をカバーする研究科の特色を活かし、専攻の枠を超えた融合力による教育と研究の両面で新しい潮流を創出する研究科になる。
- (3) 各専攻分野でオンリーワンの研究成果を発信し、国際的な研究活動を展開することで世界で輝く研究拠点としての研究科になる。
- (4) 理工学部・知能情報学部と連携し、大学院の高度な教育研究を学部教育に活かすとともに、学部教育と大学院の教育研究の一貫したつながりによって魅力的で質の高い研究科になる。

フロンティアサイエンス研究科

- (1) 変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代を、専門的な知識・技能と甲南スピリットをもってしなやかに生きることができる人物を社会に送り出す研究科になる。
- (2) 生命化学の分野で研究成果を世界に発信すると同時に、その過程や成果が神戸医療産業都市をはじめとする地域社会の発展に資するよう行動する、グローバルな研究科になる。
- (3) 神戸医療産業都市内の遠隔キャンパスに立地する研究科として新たな活躍の場を見出して社会に発信するとともに、その過程や成果を大学・大学院に還元する、ウイングとしての役割を果たせる研究科になる。

法科大学院（2019年秋入学より募集停止）

- (1) 法科大学院ならではの質の高い教育を在学学生全員が修了するまで維持する。
- (2) 在学学生と修了生への手厚いサポートにより、司法試験合格者を毎年輩出し、司法試験合格者総計150名を達成する。
- (3) 法科大学院が大学で培った教育資産を学部教育や社会に継承、還元し、KONANクオリティの発展に貢献する。

全学教育推進機構

- (1) 人物教育の基盤となる全学教育を推進するため「徳・体・知」のバランスの取れた「共通の学び」を担うとともに、本学における教育の質向上に教育支援と学習支援の双方から寄与する機構になる。
- (2) 「ミディアムサイズ総合大学」としての特長を活かし、専門教育と連携して、社会の変化や時代の要請に対応した共通教育を推進する。
- (3) 機構としてのイニシアティブを発揮し、4つのセンターが一貫性をもって有機的に連携して躍動する機構になる。

共通教育センター

- (1) 学問領域を異にする多彩な教員による教育力を最大限発揮し、人物教育の基盤となる全学共通教育を充実させるセンターになる。
- (2) 入学前教育から導入教育へと継続的教育展開を行い、学生一人ひとりの成長に焦点を当てることで人物教育率先に寄与するセンターになる。
- (3) 社会との接続において必要となる多様な実践的応用能力の育成を通じて、社会に有為な人材を輩出するセンターになる。

スポーツ・健康科学教育研究センター

- (1) スポーツ科学、健康科学に関する調査・研究活動により、「徳・体・知」の人物教育の基盤となるスポーツ・健康教育を推進するためのセンターになる。
- (2) スポーツ活動の普及振興及び健康意識の啓発活動・支援活動により、「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人物を育む本学の教育に寄与するセンターになる。
- (3) 本学の持つスポーツ・健康に関する知的資源、人的資源、物的資源を生かし、健康で豊かな社会の実現のために、地域社会に貢献するセンターになる。

リカレント教育センター

- (1) 平生フィロソフィーの基礎である「人生三期の学び」をもとに、多様なバックグラウンドを持つあらゆる世代の社会人が共に学び合う場を提供することを通して、学ぶ人・学ぶ内容の多様化・多元化を図り「マルチステージ型キャンパス」の実現に資するセンターになる。
- (2) 共働互助を柱とする平生フィロソフィーを継承し、リカレント教育に参加する履修生と修了生の交流を継続するとともに、それぞれが「働く」「学ぶ」の好循環を作り出し、どの世代であっても社会で活躍する人材が巣立つ「学び直し」の場を提供するセンターになる。
- (3) 企業・自治体・地域との絆を強めて「リカレント教育」を充実させ、地域社会の発展に貢献するセンターになる。

教育学習支援センター

- (1) 学生同士が学び合い高め合いながら個性を磨き、社会に貢献することのできる人物を育成するために、新しい教育手法の開発と全学的な浸透、及び支援体制や環境の充実を推進するためのセンターになる。
- (2) IR機能によって収集したデータの分析により、教育改善のための支援や研究活動、学生本位の教学マネジメントの確立を支援するセンターになる。
- (3) KONAN サーティフィケート制度をはじめとした、成績評価に現れにくい人物教育の成果を可視化できる指標を開発することを通じ、本学の教育成果を社会に発信することができるセンターになる。

国際言語文化センター

- (1) 学部やセンター等と連携し、つなげる力・つながる力を発揮して、本学の融合型グローバル教育を推進することにより、世界の人々と協働できる人物の育成に貢献できるセンターになる。
- (2) 甲南大学の外国語教育を担う機関として、言語スキルの習得のみならず、異文化を理解し、ますます重要性を増している「言語や文化の多様性」を尊重する複眼的な思考と価値観を持つ甲南生の育成を、より強く推進するセンターになる。
- (3) 日本語教育を軸とした受入れプログラムの多様化と制度化により、正規留学生や短期留学生の受け入れを強化し、甲南大学のグローバル化を促進するとともに、グローバル人材を育成するセンターになる。

国際交流センター

- (1) 学生一人ひとりのニーズにあった「FITなリユース（留学活動）」を支援するセンターになる。
- (2) 融合型グローバル教育をより充実させ、グローバルゾーンでの教育を活性化し、持続可能な社会に貢献できるグローバル人材を育成するセンターになる。
- (3) 協定校との関係強化を図りつつ、留学生と交流する機会や環境を充実させ、グローバルで活躍する力（つなげる力・つながる力）を伸ばすセンターになる。

地域連携センター

- (1) 大学と地域を結ぶハブとしての機能を果たし、地域連携の拠点として活動すること、学校教育と連携すること、及び大学の学びや研究を地域に還元することにより、地域・社会とともに発展する大学として高い評価を得ることに貢献するセンターになる。
- (2) 地域連携教育・地域貢献活動の実践を通じて次代を担う人材の育成に貢献し、多くの学生がボランティアや地域連携活動に取り組むことを通じて「人物教育」を実現するセンターになる。
- (3) 「共働互助」の精神に基づき、近隣地域との連携を深めるとともに、連携協定を締結する自治体、企業、教育機関等と相互に実りある関係を構築し、大学と地域社会の発展に貢献するセンターになる。

教職教育センター

- (1) 幅広い教養と深い専門性を追求し、専門職として「教え育てる」能力及び生徒の個性を伸長させる態度・姿勢を有する教員像の具現化を理念に掲げ、教員養成課程を持つ各学部・学科と連携して理念の実現を図るセンターになる。
- (2) さまざまな困難を乗り越え「学び続ける教師」として、成長しながら教職を継続していくことのできる資質・能力を有する教員の養成を図る。
- (3) 教員免許状更新講習の開設、卒業生教員や教育委員会との連携、教職に関する高大連携など、教職に関する社会連携・社会貢献を積極的に推進する。

公認心理師養成センター

- (1) 全ての学部・学科の学生が履修可能な国家資格取得のための学部カリキュラムを提供して、幅広い知識や関心を持ち、グローバルな倫理観を持つ専門的実務家を養成するセンターになる。
- (2) 学生がボランティアで参加できる地域臨床実践活動を行い、実習の場を拡大して、心理学的な知見を活かした地域援助への感性と関心を持つ専門家を養成するセンターになる。
- (3) 協定大学院との連携を深め、独自の知見と特徴を相互に組み合わせることによってより広い心理学教育を行い、6年間に渡る専門教育を充実させるセンターになる。

教務部

- (1) 教室や授業支援システム等の整備を中心に、授業規模の最適化を含めた教育環境の基盤を安定的に維持し、各学部・センター等における質の高い教育の実現を支援する組織になる。
- (2) 科目ナンバリングの再構築による学修の段階や順序の明確化等、各学部・センター等と連携し、教育課程の体系化によって教育の質向上と可視化を推進する組織になる。
- (3) 授業支援や履修・成績等の学務処理を中心とした運用体制の整理統合等、関連部局と連携し、教育支援体制を強化し、教育と学生の学習を支援する組織になる。

学生部

- (1) 学生が安全で安心かつ充実した学生生活を送ることができるよう努め、“student first”をモットーとして親身な学生対応と丁寧な学生指導を実践する組織になる。
- (2) 学生の人格形成を育む場である正課外活動への参加を推奨し、学生が自ら立てた目標に挑戦できる支援体制を構築するとともに、学生の活動の健全化と活性化を図る組織になる。
- (3) 学生が入学から卒業まで安心して修学できるよう、国の奨学金事業の動向を見ながら本学の奨学金・奨励金制度を検証し、経済支援制度を充実させることで、学生満足度の高い対応力が評価される組織になる。

カウンセリングセンター

- (1) 心理学の専門性を基盤として、大学の構成員と関係者、そして地域や社会の人々に向けた教育・支援活動を積極的に展開し、「多様性」という新時代の価値の実現に貢献するセンターになる。
- (2) 多様な学生が安心して学び、個性を尊重され、個の力を最大限に発揮して社会の中で自己実現できるようになるための個別・少人数教育と心の支援を、より一層推進するセンターになる。
- (3) KONAN クオリティを支える一角となるため、さまざまな世代の卒業生や修了生が心理的支援を必要としたときに、いつでも利用できるセンターになる。
- (4) 甲南教育プログラムを支えるため、公認心理師養成カリキュラムにおける実習・演習科目に協力するセンターになる。

キャリアセンター

- (1) 体系的なキャリア教育と就職支援機能の強化を行い、就職に強い大学としての社会的評価を確立する。
- (2) ミディウムサイズ総合大学だからできる学生一人ひとりに応じた満足度の高い「顔がわかる」キャリア支援」を追求する。
- (3) 企業や地方公共団体と連携してキャリア支援を行い、交流の場を展開することで、社会との接点を広げ、地域や社会の発展に貢献するセンターになる。

図書館

- (1) 学習・教育・研究環境の変化に対応しながら本学の学術情報基盤としての機能を強化し、多様な利用者に対応できる諸環境整備を進め、利用者の知的活動をつなげる「マルチステージ型図書館」になる。
- (2) 学生が主体的に参画する企画を展開し、知見を豊かにする読書習慣を涵養するとともに、情報リテラシー教育を推進し、学生にとってより「身近な図書館」になる。
- (3) 本学における教育・研究成果や貴重資料等の公開を促進し、学術研究の発展に寄与し、大学と社会との知的融合を促進、「『研究力の甲南』のバックボーンたる図書館」になる。

アドミッションセンター

- (1) 関西の私立大学における本学独自のポジションと、本学の教育・研究におけるクオリティの高さを発信し、本学が受験生から選ばれ続けることを推進するセンターになる。
- (2) 学生募集広報や高大接続活動を通じて学生の多様性を高め、多彩な学生が集まるより魅力的な人物教育率先の場を創出することに貢献できるセンターになる。
- (3) 本学の教育研究と高校教育との接続を促進することを通じ、本学の研究力・教育力の向上に貢献するセンターになる。

フロンティア研究推進機構

- (1) 世界に通じる特色ある研究力のさらなる向上をサポートし「研究力の甲南」としての不動の地位の確立に貢献する。
- (2) 甲南大学の持つ研究力を可視化し、その研究成果を社会へ還元するファシリテーターとしての機能を有する機構になる。
- (3) 「甲南大学知的財産戦略」に基づき、産官学連携や特許など知的財産の創出・管理・活用を進め、学術研究成果の社会への還元ならびに本学の学術研究のさらなる発展へつなげる。

総合研究所

- (1) 「つなげる力・つながる力」を生かして絶えず革新を重ね、時代の変化のなかでも強靱かつしなやかに進化し続ける質の高い研究所になる。
- (2) 甲南大学の持つ研究力の可視化の一環として、研究成果の発信を強化する。
- (3) 伝統や成果を継承しつつ、新たな時代に対応した研究所として運営体制を再構築する。

先端生命工学研究所

- (1) 基礎学術研究（生命を知る研究）から得られる研究成果に基づいた新技術への研究展開（生命を活かす研究）を推進し、「核酸化学はKONAN FIBER」という研究ブランドを確立する。
- (2) 欧米やアジアの複数の大学、研究所との間で、国際的かつ分野融合的な「多国籍研究活動」を展開し、「国際学術交易拠点としてのKONAN FIBER」の国際的プレゼンスを向上させる。
- (3) 国内の主要大学・主要研究機関との学術連携から得られる最先端の科学・技術に関する成果を社会連携活動に反映させ、社会一般に広く「KONAN FIBER発のサイエンス」を浸透させる。

人間科学研究所

- (1) 心理学実践・研究と人文・社会諸科学の協働という共同研究体制をさらに充実させ、関連領域に関する情報を整理集積して常に広く公開し、研究者や実践家をはじめとする専門家の情報ネットワークの拠点になる。
- (2) 心理学を中心とした人文・社会諸科学の協働により、予測不可能な時代を読み解き、危機を生き延びるための教育・研究の連携拠点になる。
- (3) 「子ども・子育て」「次世代育成」を主軸とした研究・教育の拠点として、研究者の連携、地域連携、世代間交流を促進し、地域とともに発展していることで知られる研究所になる。
- (4) 人間科学に関する特色ある高度な研究成果を学生教育に反映させることで、「正志く、強く、朗らかに」生き抜く人物の教育に貢献する研究所になる。

ビジネス・イノベーション研究所

- (1) 本学における社会科学に関する唯一の研究所として、研究資源や知見等を積極的に地域社会に還元し、地域社会の活性化に寄与する研究所になる。
- (2) グローバルに研究活動を展開し、世界に貢献できるビジネス研究を提供する研究所になる。
- (3) 産業界との連携を進め、産学連携研究のプラットフォームになる。